

- 1 審議会名 上田市通信制単位制高等学校評議委員会
- 2 日 時 平成24年12月18日 午後2時30分から午後5時00分まで
- 3 会 場 さくら国際高等学校 コミュニティースペース
- 4 出席者 野原会長、大口副会長、窪田委員、小松委員、坂口委員、浪方委員、山内委員
- 5 学校出席者 荒井学園長、森校長、高橋副校長
- 6 市側出席者 小山教育長、武井教育次長、小野塚教育総務課長、清水総務企画係長、横沢主査
- 7 会議概要作成年月日 平成24年12月21日

協 議 事 項 等

- 1 開会（教育次長）
- 2 人事通知書の交付
- 3 新任委員の紹介（自己紹介）
- 4 校内見学
- 5 教育長あいさつ
- 6 学園長あいさつ
- 7 議事（意見及び質疑応答）

(1) 学校の概要について

会 長 前回会議から1年が経過しているので、はじめに現在の学校の運営状況等について確認したいと考える。学校の概要について学校から説明をお願いしたい。

学 校 学校の概要について説明

会 長 ただいまの説明について、質問があればお願いしたい。

副会長 いじめ等がないことが本学校の誇りであるという説明があったが、入学前の生徒の状況や経験が影響しているのか。

学 校 入学選考の面接とは別に、生徒本人と個別面談を行い、友人関係、教員との関係や家庭の状況等を把握している。多くの生徒が心の痛みを経験したことがあることから、他人を思いやることができていると考える。人格を尊重できる立派な生徒たちである。

委 員 本学校を卒業した生徒は、進学先や就職先において、他校を卒業した生徒と比較して異なる一面がみられるのか。

学 校 卒業後、生徒には近況を報告するようお願いしているが、その内容をみると、生徒が懸命に努力している姿がうかがえる。在学中は体験学習等において様々な作業に携わっていることから、就職先の業務に柔軟に対応できていると考えている。なお、進路指導においては、大学や専修学校などに進学して、更なる学力の向上を図るよう指導している。

副会長 不登校を経験した生徒は学力に差が生じていると考えられるが、何か指導上で工夫していることはあるか。

学 校 入学前の個別面談の際に、学習の遅れを心配する生徒は多い。そのため、副校長が中心となって、入学前に学習支援を無償で実施している。入学後は、習熟度別のクラス編成を行い、指導を行っている。その結果、多くの生徒が大学に進学できており、指定校推薦も増えつつある。

副会長 入学前に学習支援を行う学校は、他には聞いたことがなく、すばらしい取組であると考えている。

会 長 他に質問がなければ、学校設置会社による学校設置事業を取り巻く状況について事務局から説明をお願いしたい。

(2) 学校設置会社による学校設置事業を取り巻く状況について

事務局 学校設置会社による学校設置事業を取り巻く状況について説明

学園長 補足説明

会 長 ただいまの説明について、質問があればお願いしたい。

会 長 特に質問がなければ、今回の主題である学校評価（案）について事務局から説明をお願いし

たい。

(3) 学校評価（案）について

事務局 学校評価（案）について説明

会長 事務局から説明があったが、この学校評価の評価項目の設定のあり方や評価の内容などについて、委員の皆さんから意見をお願いしたい。

委員 校内見学において、生徒と話す機会をもつことができたが、教室に貼ってある写真を指して、「この先生がいてくれたおかげで頑張ることができた。」と話してくれた。昨年も感じたことであるが、生徒たちが着実に力をつけてきていると思う。また、生徒数が増え、教室が手狭になってきていることから、明るさなども含め、教育環境の整備が必要になってきていると感じた。

9月の上小教育課程研究協議会には、本学校の先生方も参加され、共に勉強することができたが、学校に通うことができなかった生徒が本学校の指導を受け、進学や就職するまでに力を付けてきていることを考えると、学校自己評価等でもっと評価してもよいと思う。本年度は、先生だけでなく生徒にも覇気が感じられるようになってきた。

委員 全日制に通うことを途中で断念したものの、本学校に転学したことで卒業し、新たな進路を見出すことができている生徒が多くいるものと推測されるが、どのくらいの生徒が転入学してきているのか。学校評価においては、これら転入学してきた生徒が卒業できている点を強調してもよいのではないかと考える。

学校 本校には、長野市から佐久市までの範囲に居住する生徒が在学している。転入学に当たっては、事前の個別面談を行い、学習や身だしなみ等における約束事を守ることを条件として受け入れている。本校の入学者のうち約半数が転入学又は編入学である。

事務局 学校評価の修正については、転入学や編入学する際の状況を学校に確認した上で検討する。

委員 生徒・保護者からの意見要望を把握する手段として、文化祭時のアンケートのほかに実施したことはあるか。

学校 本年度は、文化祭の際にアンケートを実施したところであるが、別の方法も今後検討したいと考える。

委員 三者面談の際にも意見要望を把握されているが、意見要望を聞く機会は多くあった方がよいと考える。

本学校の先生の指導は素晴らしいが、東京などの高校で特別な経験を積んだ方が多いのか。

学校 教員の採用については、地域を限定せずに全国から募集し、面接等を行い決定している。教員の経験にかかわらず、本学校の教育目標に基づき、学校全体で生徒たちの個の完成や社会的自立を支援している。なお、(社)日本青少年育成協会が主催する教育コーチング(学習者のやる気と能力を引き出し、自立を支援する教育方法)の第1号としての認定も受けている。

委員 不登校であったから本学校に入学するのではなく、不登校にならないようにしていくことが重要であるので、他校の先生方にも本学校の先生の取組姿勢を見習ってほしいと考える。

副会長 生徒が不登校にならないよう取り組んでいくことが重要であることについては同感である。学習指導と生徒指導の状況について質問するが、市内で行われる集中スクーリングには必ず本校の先生が赴き指導を行っているのか。また、家庭訪問は高等学校ではあまり例のない取組であるが、全生徒を対象に行っているのか。

学校 集中スクーリングは、本校をはじめ市内の各施設で実施しているが、市内の案内も必要となるため、基本的には本校の教職員が常時指導に当たっている。家庭訪問は、支援が必要な生徒に対して必要に応じ実施している。

委員 学校設置会社による学校設置事業を取り巻く状況についての議題において、学園長の補足説明にもあったが、国の評価・調査委員会の委員をはじめとする多くの方々に、本学校へ足を運んでもらい、本学校のよさを理解してもらいたいと考える。

学校評価については、教育目標の達成状況や生徒の思いなども勘案され、評価書としてとりまとめられることを期待する。

お願いになるが、生徒は本学校に在学している間はきめ細やかな指導・支援を受けられるが、

卒業後の進路先では同様の指導・支援は受けられないと考える。そうした場合に、生徒たちが順調に学習等に取り組めているのか、進路先での状況を把握されることも必要であると考え。

学園長 貴重な意見である。なお、本学校は特別な支援を必要とする生徒を教育しようと考え設立した学校ではなく、これまでに教育に携わってきた経験から、いじめや不登校はなぜ起きるのかという疑問が根底にあって、これを解決するためには、教員だけでなく地域の方々やこの課題に精通している方々と一体となって、新しい教育のシステムを構築しなければ、次世代を担う人材を育成することができないという危惧があり、地域と一体となった学校づくりを大前提として設立した学校である。このことが特別な支援を必要とする生徒にも受け入れられているが、支援の必要性にかかわらず、より多くの生徒に入学してほしいと考えている。そして、日本だけでなく外国でも活躍され、日本を支えてくれることを期待している。本学校のような学校が全国に設立されれば、現在抱える教育課題も大部分が解決できるのではないかと考えている。

会長 不登校であった生徒が、必ずしも基礎学力は低いということではなく、人前にでることができないため、授業を受けられなかったという悩みだけを抱えている生徒もいる。本学校は、これら生徒に対して、集団で生活する能力を養わせる役割を担うとともに、日本の教育システムが社会変化に対応できてきていない状況に対して、高等学校までの教育の仕組みを今後どう変えていけばいいのか実験的に試行している面もあり、本学校が存在することの大きな意義にもなっている。

副会長 地域と一体となった学校づくりが、本学校の特徴であり長所でもある。生徒が地域交流を積み重ねることで、大きく成長していく様子があり、大変うれしく思っている。地域交流によって、生徒の心が解放されていると考える。地域交流での経験は、社会においても役立つことから、地域の方を講師とした講演会の開催など、今後も地域交流を推進されることを期待する。

委員 夏祭り等に本学校の生徒たちが積極的に参加してくれることで、非常によいイベントになっている。地域と本学校の交流が更に図られるよう、積極的に支援していきたいと考える。

委員 特別な支援を必要とする生徒とそれ以外の生徒では、指導上異なる点はあるか。

学園長 地域と一体となって生徒を育成していくことを前提にしていることから、特に異なる点はない。

委員 地域交流は、地域の皆さんが上手に生徒たちを導いてくれることもあり、生徒たちが自信を取り戻すきっかけになっている。また、本学校に電話するとワンコールで応答され、対応も丁寧であるので、今後も続けられることを期待する。

会長 各委員からの提言を踏まえ、事務局において評価書のとりまとめをお願いする。次の議題である学則の変更について事務局から説明をお願いしたい。

(4) 学則の変更について

事務局 学則の変更について説明

会長 学則の変更について、質問及び意見があればお願いしたい。

会長 特に異論がなければ、本委員会として学則の変更について了承することとしたい。但し、技能教育施設に関する学則の変更については、長野県教育委員会の指定を受けることが前提となっていることから、指定を受けた場合には本委員会をあらためて開催することなく、承認することとする。

以上で予定していた議事がすべて終了したので、事務局からその他として何かあればお願いしたい。

8 その他（総務企画係長）

今後の予定等について説明。

9 閉会（教育次長）